

神奈川県のカメムシについて (I)

鈴木 裕

Notes on Hemiptera from Kanagawa Prefecture (I)

Yutaka SUZUKI

はじめに

筆者は先年、神奈川県昆虫調査団の一員としてカメムシ類の調査を担当し、その結果、神奈川県から31科186種のカメムシ類を記録することができ、「神奈川県のカメムシ類」として報告した。

その後、今日まで多くの方々から寄せられた標本の数も多くなり、また、見落していた文献の収集もある程度でき、充分ではないが新たな知見を得られたのでここに前報の補遺として過去のデータも含めながら、神奈川県のカメムシ類について報告する。

なお、本文を記すにあたり標本を寄贈して下さった以下の方々の協力を得た。芦沢一郎、石渡裕之、榎戸良裕、坂本繁夫、土屋裕志、西川正明、西山みね子、橋本慎太郎。また、同定や貴重な文献を貸与していただいた日本半翅類学会の長谷川仁氏、日頃より御世話になっている横須賀市博物館学芸員大場信義氏に感謝する。

また、横須賀市博物館所蔵昆虫標本資料はYCM-I. (Yokosuka City Museum Insect Collection) として表示し、登録番号を付した。

マルカメムシ科 PLATASPIDAE

本科のものについては、以下のデータを追加する。

ヒメマルカメムシ *Coptosoma biguttulum* MÖTSCHELUSKY

横浜市港北区勝田: 17. X. 1982, 3 exs (鈴木)

横須賀市久留和: 13. V. 1981, 1 ex YCM-I 8053

横須賀市船越町: 23. VI. 1963, 1 ex YCM-I 8155

マルカメムシ *C. punctissimus* MONTANDON

横浜市鶴見区三ツ池: 24. X. 1982, 2 exs (鈴木)

丹沢・土山峠 : 14. VI. 1980, 2 exs (西川)

真鶴岬 : 8. XII. 1979, 2 exs (鈴木)

三ツ池では、アザミの茎より得た。

ツチカメムシ科 CYDNIDAE

先の報告書では、7種のツチカメムシ類を記録し、次の知見を得た。

ツチカメムシ *Macroscytus japonensis* SCOTT

丹沢・UENOMARU: 6. VII. 1980, 2 ♀ (西川)

横須賀市栗田: 2. VIII. 1980, 1 ♂ (坂本)

鶴見区三ツ池: 24. X. 1982, 2 ♀ (鈴木)

本種は、石の下や草木の根際などに棲息しているが西川氏によれば、クマの糞より得たという。このような採集例は珍しい。

ハマベツチカメムシ *Psamnozetes ater* DISTANT

厚木市元町: 15. V. 1980, 1 ex (鈴木)

鈴木(1981)では、ヒメツチカメムシの記録として掲げたが、長谷川氏の同定により本種であることが判



図1. 神奈川県におけるウシカメムシの分布記録



図2. オオキンカメムシ(林公義氏撮影)

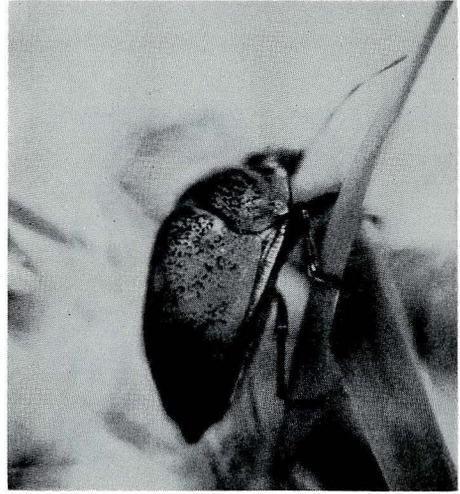


図3. アカスジキンカメムシ

明したので、先の記録を抹消すると共に、本科では8番目の記録とし追加する。なお、本種はそれほど少ない種ではないとの事なので、これからも多くのデータが追加されると思われる。

ヒメクロツチカメムシ *Geotomus punctulatus* (COSTA)

本種については、Distant (1883) の記載の中に、他の多くの種と共に「Yokohama」より記録されているのでここに掲げる。また和名は、長谷川 (1960) に従った。

ヨコツナツチカメムシ *Adrisa magna* UHLER

本種の神奈川県における記録は、中村 (1964) による札掛の1例だけであったが、今回、横須賀市博物館の所蔵標本の中より見出した。

逗子市神武寺：9. IX. 1962, 1 ex YCM-I 8090

カメムシ科 PENTATOMIDAE

本科のものは39種記録したが、ここでは、その後得られた未記録種と既知種の産地を追加する。

フタテンカメムシ *Laprius varicornis* DALLAS

既知産地：三浦半島大楠山、箱根仙石原、津久井町中野。

葉山町長柄：1. VIII. 1981, 1 ♂ (鈴木)

逗子市桜山：8. VIII. 1982, 1 ♀ (橋本)

少ない種で、橋本氏はネムノキより採集され、筆者



図4. 各種カメムシの分布記録 (新産地)



図5. オオヘリカメムシの幼虫

は、蛍光灯に飛来したものを採集した。

ウズラカメムシ *Aelia fieberi* SCOTT

金沢区小芝海岸：31. VIII. 1980, 2 exs (鈴木)

藏沢市御所見：15. I. 1982, 1 ♂ (鈴木)

逗子市披露山：10. V. 1978, 1 ♂ (鈴木)

三浦市城ヶ島：1. IX. 1982, 1 ♀ (鈴木)

御所見では、乾いた牛糞下より越冬中のものを得た。

シロヘリカメムシ *Aenalia lewisi* SCOTT

既知産地：逗子市披露山，横須賀市観音崎，丹沢札掛，皆瀬川，津久井郡半原，箱根仙石。

横須賀市追浜：17. IV. 1956, 2 exs (鈴木)

横須賀市武山：27. IV. 1974, 1 ex (鈴木)

DISTANT (1883) に「Yokohama」の記録がある。

なお、本種に近似するイネカメムシは、先の2例(原本市七沢，箱根俵石)の他，見出せない。

クサギカメムシ *Halyomorpha mista* (UHLER)

県内では最も普通に見られるカメムシで，その後も多くのデータが集まったが，二，三の例を記録する。

逗子市桜山：28. VII. 1982, 1 ♂ (橋本)

横須賀市栗田：19. VII. 1979, 1 ♀ (坂本)

横須賀市久村：24. VII. 1978, 2 exs (坂本)

横須賀市剣崎：26. IV. 1965, 1 ♀ (鈴木)

エゾアオカメムシ *Palomena angulsa* MOTS

既知産地：箱根仙石原，神山，台ヶ岳，丹沢ヤビツ峠。

箱根乙女峠：31. VII. 1975, 1 ♂ (鈴木)

本種は山地性の種のためか，上記1例のみ。

ウシカメムシ *Alcimocoris borealis* (DISTANT)

本種はその名のように特異な形をしたカメムシで，神奈川県からは，横須賀市追浜，貝山，丹沢蛭ヶ岳，厚木市飯山観音，小田原市などから知られていたが，今回次に掲げられるように多くのデータが集まった。

横浜市六浦町：10. VI. 1979, 2 exs YCM-I 8024

横浜市六浦町：3. IX. 1981, 1 ex (土屋)

逗子市池子：14. IX. 1981, 1 ex (土屋)

逗子市久木：10. IX. 1961, 1 ex YCM-I 8081

逗子市久木：1. IX. 1962, 1 幼虫 YCM-I 8082

逗子市久木：3. XI. 1961, 1 ex YCM-I 8083

横須賀市猿島：. IV. 1980, 2 exs (大場)

横須賀市久村：5. IX. 1982, 1 ex (坂本)

この他，中山 (1981) の逗子市田越からの記録もあり，同一地域からこのように多く記録された処は，他にないようである。なお，土屋氏によれば，六浦町ではアケビより得たとのことであり，筆者 (1966) もアケビより得ており，本種の寄主植物である可能性は大である。

筆者が先に記録した横須賀市追浜 (1978年4月) の個体は，ツバキの葉裏につくられたキイロアシナガバチの巣の上で越冬中のものであった。

チャバネアオカメムシ *Plautia stali* SCOTT

平地及び山麓地帯では，最も多くいるカメムシで，先の報告書に掲げた他，次のデータを記録する。

横浜市三ツ沢公園：26. XI. 1978, 1 ♂ (鈴木)

横浜市磯子区峯：27. VI. 1981, 1 ♀ (芦沢)

逗子市逗子：29. IX. 1982, 1 ♂ (橋本)

葉山町二子山：4. I. 1968, 1 ♂ (鈴木)

横須賀市深田台：7. VI. 1980, 1 ♂ (坂本)

横須賀市栗田：26. IX. 1979. 1 ♀ (坂本)

丹沢大山 (中腹)：9. VIII. 1980, 2 exs (鈴木)

丹沢中川温泉：28. VII. 1969, 1 ♀ (鈴木)

上記の中，三ツ沢と二子山の個体は，全体茶褐色になったもので，別種のような感じすらする。両個体とも樹皮下 (スギ) で越冬中のものであった。なお，芦沢氏は，カラスザンショウより得ている。

ナガメ *Eurydema rugosa* MOTSCHULSKY

本種は，アブラナ科植物上で生活するが，耕作地の減少と共に本種の個体数も少なくなった。

横須賀市長沢：1. V. 1971, 1 ♂ (坂本)

横須賀市長沢：5. IV. 1981, 1 ♀ (坂本)

横須賀市野比海岸：16. II. 1974, 1 ♂ (鈴木)

野比海岸では，海岸の石の下よりゴミムシ，ゴミムシダマンなどと共に越冬中のものを得た。本種の越冬個体を採集したのは，この1例のみである。

ナカボシカメムシ *Menida musiva* (TAKOVLEV)

既知産地：丹沢ヤビツ峠，三ノ塔，札掛，津久井町藤野，相模原。

津久井町寸沢風：13. VI. 1980, 2 exs (県農試)

山地性の種で，今までに得られた個体数も少ないものである。近似種のツマジロカメムシは，報告書に掲げた他，丹沢蓑毛，宮ヶ瀬，葉山町二子山，横須賀市

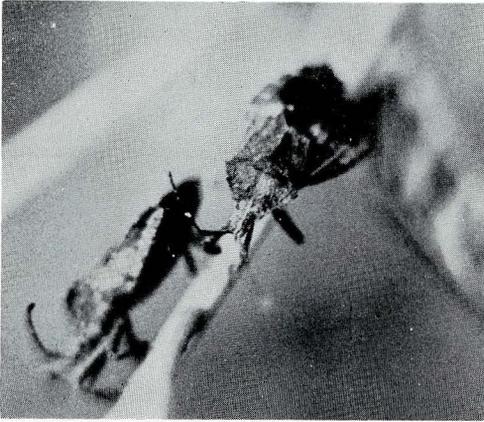


図6. ホオズキカメムシの雌雄

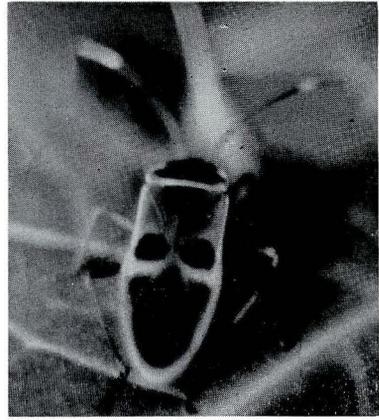


図7. オオホシカメムシ

追浜など県内の広い地域で得られている。

スコットカメムシ *Menida scotti* PUTON

横須賀市鷹取山 : 19. X. 1980, 1 ♀ (鈴木)

本種は、北方系のカメムシで本県のような暖地では丹沢山塊に少数分布している程度と考えていた。今までに得られたものも、宇津茂と山北町の2例だけであったが、本県でも暖かい、しかも平地にあたる鷹取山 (alt 138m) から採集できた。この個体は、多くのツマジロカメムシと共に、ニシキギより得た。

オオキンカメムシ *Eucorysses grandis* (THUNBERG)

南方系の大型のカメムシで、先の報告書では平野 (1958) の矢倉沢の記録以来発見されないと記したが、大場 (1981) の横須賀市天神ヶ島の記録があるので追加する。この個体は、モズのはやにえになったもので貴重な記録である。なお、筆者の知見では、本種の関東近辺での採集例は、穂高岳 (西川・1956)、新潟県黒川 (長谷川・1960)、浦和 (磯田・1967)、千葉県鴨川市・館山市 (大野・1978) であろう。但し、静岡県からは多く記録されており、特に伊豆半島には多いとのことで、渡辺 (1978) によれば「暖地の海岸に生息し、ヤブツバキ、アブラギリ、ミカンなどにつく、分布は局地的であるが、伊豆半島東海岸では多産する箇所がある」ので、飛翔力の強い本種が西風に乗って三浦半島まで飛んで来たことも充分考えられる。

アカスジキンカメムシ *Poecilocoris lewisi* DISTANT

本種も美しい大型のカメムシで、その後も以下のようなデータが集まった。

- 横浜市上大岡 : 2. VI. 1981, 1 ♂ (芦沢)
- 港南区笹下 : 27. IX. 1982, 1 幼虫 (西山)
- 磯子区峯 : 29. VI. 1977, 3 exs (芦沢)
- 逗子市桜山 : 24. V. 1982, 1 ♂ (橋本)
- 横須賀市粟田 : 21. V. 1978, 1 ♂ (坂本)
- 藤沢市御所見 : 15. I. 1982, 1 終令 (鈴木)
- 厚木市飯山観音 : 6. VI. 1980, 1 ♂ (大島)
- 箱根・乙女峠 : 13. V. 1975, 1 ♂ (鈴木)

これらの中、上大岡のものはクワより、磯子区峯のものは、カラスザンショウより得られており、山本晃氏によれば、川崎市多摩区でもカラスザンショウに付いている多数の個体を目撃されている。(1981年9月)

アカスジカメムシ *Graphosoma rubrolineatum* (WESTWOOD)

セリ科植物上でよく見かける。以下のデータを記録する。橋本氏は2例ともアシタバの花より得ている。

- 逗子市桜山 : 17. IX. 1982, 1 ♀ (橋本)
- 逗子市桜山 : 27. IX. 1982, 2 exs (橋本)
- 横須賀市鷹取山 : 27. IV. 1957, 1 ♀ (鈴木)
- 横須賀市野比 : 19. VII. 1970, 6 exs (坂本)
- 葉山町一色 : 23. VIII. 1980, 1 幼虫 (鈴木)
- 丹沢・大倉尾根 : 18. VIII. 1968, 2 exs (鈴木)

クロカメムシ *Scotinophara lurida* (BURMEISTER)
鈴木 (1981) では、オオクロカメムシと共に調査期間には得られなかったと記したが、見落しがあったので追加記録と合せて報告する。

- 横須賀市大楠山 : 2. VI. 1957, 1 ♂ (鈴木)
- 横須賀市長沢 : 15. III. 1981, 1 ♂ YCM-I 8048
- 横須賀市岩戸 : 31. V. 1981, 1 ♂ (坂本)

横須賀市安針塚：23. VI. 1963, 1 ♂ YCM-I 8178
葉山町二子山：27. IV. 1974, 1 ex (鈴木)
小田原市OGIKUBO：29. VI. 1981, 1 ex (西川)
三浦市三崎町：21. VII. 1962, 1 ex YCM-I 8189

オオクロカメムシ *Scotinophara horvathi* DISTANT

既知産地：逗子市神武寺, 横須賀市追浜, 津久井浜海岸。

横須賀市長浜海岸：25. II. 1978, 2 exs (鈴木)
三浦市城ヶ島：24. X. 1981, 1 ♂ (鈴木)
藤沢市御所見：15. I. 1982, 3 exs (鈴木)

なお, 本種は, DISTANT (1883) に「Yokohama」を原産地として新種記載されたもので, クロカメムシの産地にも長崎と共に横浜が掲げられている。また, 上記個所からは, ヒメクロカメムシ *S. scotti* も同時に採集することが出来た。

アジアカクチフトカメムシ *Pinthaeus sanguinipes* (FABRICIUS)

丹沢・ヤビツ峠：23. IX. 1980, 1 ex (鈴木)
クチフトカメムシ類では大形種で, 山地性のものであり, 神奈川県初記録である。

シモフリクチフトカメムシ *Eocanthecona japonica* ESAKI et ISHIHARA

丹沢・ヤビツ峠：23. IX. 1980, 1 ex (鈴木)
本県からは, 平野 (1971) が奥湯河原産のものを記録しているのみで, 全国的に見てもその分布は点在し個体数の少ないカメムシである。ヤビツ峠で繁ったノブドウを叩いて得た。

ルリクチフトカメムシ *Zicrona caerulea* LINNÉ

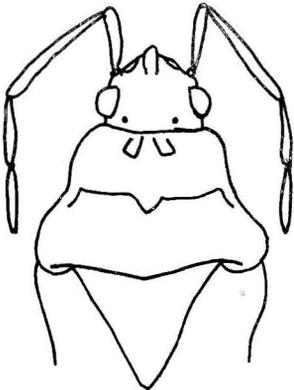


図8. ケブカナガカメムシ (長谷川1981より複写)

既知産地：金沢区野島, 横須賀市猿島, 逗子市桜山, 三浦市毘沙門海岸。

葉山町木古庭：22. IX. 1970, 1 ex (鈴木)
逗子市久木：4. IX. 1963, 1 ex YCM-I 8088
深く青味がかかった小型のクチフトカメムシでDistant (1883) の記録に「Yokohama」がある。

シラホシカメムシ属 *Eysarcoris* は, ツヤマルシラホシカメムシ, マルシラホシカメムシ, オオトゲシラホシカメムシ等5種を報告したが, 同定未了のものが多く, 後日, 別に記録する。

ノコギリカメムシ科 DINIDORIDAE

ノコギリカメムシ *Megymenum gracilicorne* DALLAS

既知産地：横須賀市猿島, 追浜, 浦郷, 長井, 三浦市上宮田, 藤沢市川名, 相模原市淵野辺, 秦野市。

石渡裕之氏 (三浦半島昆虫研究会) によれば, 1981年9月, 三浦市城ヶ島にてカボチャに相当数の本種を見たとの報告があり, 筆者は, 昨年9月24日と本年9月に城ヶ島を訪れて調査をしたが, いずれもカボチャは抜かれたあとで本種を見出すことはできなかった。

クヌギカメムシ科 UROSTYLIDAE

本科のものについては, 鈴木 (1981) では, クヌギカメムシ, サジクヌギカメムシ, ナシカメムシの3種を記録したが, その後次の種の追加記録があった。

ナシカメムシ *Urochela luteovaria* DISTANT

奥湯河原：29. VIII. 1982, 1 ♂ 1 ♀ (橋本)

ツノカメムシ科 ACANTHOSOMATIDAE

ツノカメムシ類については, 現在整理中であり, ここでは, 次の1種を新たに報告する。

クロヒメツノカメムシ *Elasmucha* sp.

丹沢・札掛：3. XI. 1981, 1 ♀ (鈴木)
長谷川氏の同定による。本個体は, 林道上を歩いているものを採集した。寒い日だったためか動作は, ゆったりとしていた。和名は, 長谷川 (1960) による。

ヘリカメムシ科 COREIDAE

オオヘリカメムシ *Molipteryx fuliginosa* (UHLER)

既知産地：箱根仙石原，台ヶ岳，丹沢・ヤビツ峠，蛭ヶ岳，三国峠，横須賀市鷹取山。

大型のヘリカメムシで，箱根や丹沢などの山地では多くの個体をみることができるとは，三浦半島のような低地では稀である。先の報告時，次の標本を見落していた。

横須賀市大楠山 : 23. VIII. 1980, 1 幼虫 (鈴木)

ハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus dilatatus*
HORVATH

既知産地：小田原市上水の尾，石垣山，秦野，丹沢中川温泉，津久井郡藤野町。

横須賀市大楠山 : 13. V. 1956, 1 ♂ (鈴木)

ホシハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus unipunctatus* THUNBERG

クズを好み，最も多い。それに比し，前種は極端に少ない。以下に二，三の例を追加する。

港北区勝田町 : 17. X. 1982, 1 ♂ (鈴木)
逗子市池子 : 31. VII. 1982, 1 ♀ (橋本)
逗子市桜山 : 7. IX. 1982, 2 ♂ (橋本)
横須賀市粟田 : 7. V. 1980, 2 exs (坂本)
丹沢・土山峠 : 14. VI. 1980, 1 ♀ (西川)
奥湯河原 : 29. VIII. 1982, 1 ♂ (橋本)

オオクモヘリカメムシ *Anacanthocoris striicornis* (SCOTT)

先の報告書にも記したように県内では2例(横須賀市追浜，相模原市)しか記録できなかったが，以下の追加記録があった。

逗子市桜山 : 8. VIII. 1982, 3 exs (橋本)
逗子市桜山 : 7. IX. 1982, 1 幼虫 (橋本)
橋本氏によれば，いずれもネムノキより採集しており，交尾個体であったと云う。

ツマキヘリカメムシ *Colpura opaca* (UHLER)
本種も個体数の多い種類で，多くのデータの中，3例を記録する。

逗子市桜山 : 25. VIII. 1982, 1 ♂ (橋本)
藤沢市御所見 : 15. I. 1982, 5 exs (鈴木)
真鶴海岸 : 8. XII. 1979, 3 exs (鈴木)

オオツマキヘリカメムシ *Colpura lativentaris* (MOTSCHULSKY)

既知産地：横須賀市猿島，三浦市城ヶ島，厚木市鳶尾山，広沢寺，山北町。

丹沢・七沢溪谷 : 9. VIII. 1980, 2 exs (鈴木)

丹沢・菜の花台 : 3. XI. 1981, 1 ♀ (鈴木)

箱根・乙女峠 : 24. V. 1975, 1 ♀ (鈴木)

丹沢・菜の花台ではニワトコの小さな茎より採集した。前種に比べると少ない。なお，先の報告書で，厚木市鳶尾山の採集数を1exとしたが，2♂1♀の誤りなので訂正する。

ホオズキヘリカメムシ *Acanthocoris sordidus* (THUNBERG)

本種の採集例も多く，二，三例を報告する。

横須賀市野比 : 15. VI. 1980, 1 ♀ (坂本)

横須賀市津久井 : 16. V. 1981, 1 ♂ (坂本)

三浦市城ヶ島 : 24. X. 1981, 4 exs (鈴木)

秦野市震生湖 : 13. VII. 1969, 1 ♀ (鈴木)

本種の一年を通じての活動は，他のヘリカメムシに比べて長いようで，本年10月23日(横須賀市追浜)での観察では，殆ど葉のなくなったホオズキの茎で，交尾をする個体を1株に1・8対の割合でみている。

キバラヘリカメムシ *Plinaetus bicoloripes* SCOTT

既知産地：中区三溪園，金沢区野島，横須賀市鷹取山，阿部倉，藤沢市川名，茅ヶ崎市小出，小田原市上水ノ尾，津久井町中野，丹沢花立。

逗子市桜山 : 7. IX. 1982, 1 ♂ (橋本)

横須賀市粟田 : 25. VIII. 1980, 1 ♂ (坂本)

桜山での観察では，マサキより得たという。

ホソヘリカメムシ科 ALYDIDAE

クモヘリカメムシ *Leptocoris chinensis* (DALLAS)

本種はエノコログサをはじめイネ科植物上に多く，特に9月上旬には大発生をみるが，1982年は少なかった。

横須賀市粟田 : 26. IX. 1979, 1 ex (坂本)

足柄上郡鮎沢 : 14. IX. 1982, 7 exs (鈴木)

三浦市城ヶ島 : 1. IX. 1982, 1 ex (鈴木)

ホソヘリカメムシ *Riptrotus clavatus* (THUNBERG)

本種も畑地との関係で以前に比べ，相対的に少なくなった。

横須賀市追浜 : 1. VIII. 1971, 1 幼虫 (鈴木)
横須賀市大楠山 : 8. IX. 1968, 1 ex (鈴木)
三浦市城ヶ島 : 24. X. 1981, 1 ♀ (鈴木)
丹沢・大山 : 17. VIII. 1974, 1 ♂ (鈴木)

横須賀市武山 : 2. V. 1966, 1 ex (鈴木)
丹沢・宮ヶ瀬 : 14. VIII. 1972, 1 ex (鈴木)

オオホシカメムシ科 LARGIDAE

ヒメホシカメムシ *Physopelta cincticillis* STÅL

既知産地: 横須賀市鷹取山, 大楠山, 大磯湘南平, 箱根仙石原, 丹沢花立, 大山, 三国峠。

横須賀市武山 : 2. V. 1966, 1 ♂ (鈴木)
葉山町長柄 : 1. VIII. 1981, 1 ♀ (鈴木)
丹沢・宮ヶ瀬 : 14. VIII. 1972, 1 ♂ (鈴木)
丹沢・大倉 : 28. VIII. 1966, 1 ♀ (鈴木)
津久井町寸沢嵐 : 13. VI. 1980, 4 exs (県農試)

アカヘリナガカメムシ *Arocatus sericans* STÅL
既知産地: 横須賀市貝山, 三浦市引橋 (YCM-I 8303), 厚木市広沢寺。

前種よりやや小型 (体長 7 mm) で, 先の報告書では, 県内における採集例は少ないと記したが, 横須賀市博物館の所蔵標本を検したところ, 以下の標本を見出した。

金沢区釜利谷 : 9. VI. 1963, 1 ex YCM-I 8138
逗子市久木 : 21. IV. 1963, 1 ex YCM-I 8229
逗子市久木 : 23. V. 1963, 1 ex YCM-I 8096
横須賀市田浦 : 28. IV. 1963, 1 ex YCM-I 8145

オオホシカメムシ *Physopelta gutta* (BURMEISTER)

既知産地: 横須賀市貝山, 鷹取山, 三浦市引橋, 厚木市七沢, 茅ヶ崎市小出, 大磯湘南平, 七沢溪谷, 三国峠。

葉山町長柄 : 1. VIII. 1981, 1 ♀ (鈴木)
逗子市桜山 : 28. VII. 1982, 1 ♂ (橋本)
横須賀市粟田 : 26. IX. 1979, 1 ex (坂本)
津久井町寸沢嵐 : 13. VI. 1980, 3 exs (県農試)

前種ともどもアカマガシワを好み, 時に群棲することも見られる。前種に比べ秋遅くまで新鮮な個体を見掛けることがある。

ケブカナガカメムシ *Trichodrymus pameroides* LINDBEG

長谷川 (1981) によれば, ヒョウタンナガカメムシ類に似る体長 6 mm 内外のナガカメムシで, その採集地は, 長野県 常念岳, 栃木県 塩原, 矢板, 群馬県 沼田, 対馬上見坂, 北海道利尻島, 網走などが掲げられているが, 長谷川氏からの私信によれば, 「神奈川県厚木市白山の標本も検している」という。

スナコバネナガカメムシ *Blissus rotundatus* (HIDAKA)

葉山町長者ヶ崎 : 15. I. 1979, 1 ♂ 1 ♀ (鈴木)

本種は体長 4.0 mm 弱の小さなカメムシで全身に毛があり, 土中にて生活をするという種類のためか, 今までに採集された記録は原記載 (HIDAKA, 1959) の和歌山県と新潟県以外にはないようで, 非常に珍らしい記録である。

筆者は, 狭い長者ヶ崎海岸で, 波打際にある小さな石 (約 10cm) を起して, 越冬中の昆虫調査をしていた時に見つけたもので, 石の下の砂の中でなにやら動くものを見つけ, 海浜性の甲虫の一種ぐらいにしか思っていなかったが, 標本にして初めて本種であることが判明した。この標本は後日, 長谷川氏が確認している。

ナガカメムシ科 LYGAEIDAE

本科のものについては, 先に 31 種を記録した。その後も調査研究を進め, 文献上からも相当数のナガカメムシ類を追加する必要が判明しているが, それらの編めが不完全なため詳細は後日に別記する。ここでは次の 4 種についてのみ記録する。

セスジナガカメムシ *Arocantus melanostomus* SCOTT

本種はボタンズルを食すと云うが, 筆者はスウィーピングにより, 飛翔中のものを得た。既知産地は, 相模原市, 丹沢大倉, 鎌倉市朝比奈峠, 横須賀市追浜, 田浦, 安針塚, 逗子市逗子海岸, 葉山町長柄などである。

葉山町二子山 : 6. VI. 1965, 1 ex (鈴木)

サシガメ科 REDUVIIDAE

トビイロサシガメ *Oncocephalus assimillis* REUTER
及びモモトサシガメ *O. femoratus* REUTER は, 先

の報告書においては、疑問符を付しておいたが、その後の調査で間違いがないことが判明した。後者の1例。
金沢区六浦町 : 29. X. 1980, 1 ex YCM-I 7997

アカシマサシガメ *Haematoloecha nigrofula* (STÄL)

下記3例を追加する。

- 港南区笹下 : 27. IX. 1982, 1 ♀ (西山)
横須賀市津久井 : 15. II. 1981, 1 ex (坂本)
横須賀市栗田 : 8. III. 1981, 2 exs (坂本)

キイロサシガメ *Sirthena flavipes* (STÄL)

本種も神奈川県では稀な種で、丹沢札掛と川崎市下麻生の記録しかなかったが、坂本氏が灯火に飛来したものを採集した。

- 横須賀市久村 : 6. VIII. 1982, 1 ex (坂本)

ビロウドサシガメ *Ectrychotes andreae* (THUNBERG)

- 逗子市桜山 : 28. VII. 1982, 1 ♀ (橋本)

クロサシガメ *Pirates cinciventris* HORVATH

- 磯子区新杉田 : 2. X. 1982, 5 exs (鈴木)

シマサシガメ *Sphedanolestes impressicollis* (STÄL)

- 逗子市桜山 : 23. VII. 1981, 1 ex (橋本)
津久井郡藤野町 : 16. VI. 1973, 1 ex (坂本)

ヤニサシガメ *Velinus nodipes* UHLER

- 丹沢札掛 : 26. IV. 1980, 1 幼虫 (西川)

オオトビサシガメ *Isyndus obscurus* (DALLAS)

- 丹沢・菜の花台 : 3. XI. 1981, 1 ♂ (鈴木)

マキバサシガメ科 NABIDAE

アシフトサシガメ *Prostemma hilgendorffi* STEIN

先の報告書では、1例のみとしたが、古い記録を見出した。

- 横須賀市追浜 : 1. V. 1956, 1 ex (鈴木)

アシボソトビイロサシガメ *Bardesanes* sp.

長谷川(1981)によれば、ビルマ、インドから得られた *B. signatus* に近似の種で、対馬・厳原で得られ

相模原市で採集された標本についても言及しており、本州で最初の記録である。水田付近の湿地などに生活するという。なお、現在の処、種名不詳。

マツモムシ科 NOTONECTIDAE

コマツモムシ *Anisops genji* HUTCHINSON

- 横須賀市長浜海岸 : 25. II. 1978, 1 ♀ (鈴木)

本種は、長浜海岸の波打ち際のタイドプール(非塩水)から、ヤゴやアメンボなどと共に厳冬期に採集した。

ミズギワカメムシ科 SALDIDAE

モンシロミズギワカメムシ *Chartoscirta elegantula* FALLÉN

先の報告書では、種名を保留したがその後の調査で本種であることが判明した。現在では本種が生活の場としている湿地がなくなったためか、採集は困難だが1950年代以前には普通であったようで、筆者の記録の他、横須賀市博物館の所蔵標本に以下のものがある。

- 横須賀市追浜 : 31. III. 1956, 1 ex (鈴木)

- 横須賀市追浜 : 9. XI. 1957, 1 ex (鈴木)

- 逗子市久木 : 4. IV. 1963, 1 ex YCM-I 8248

「神奈川県の新翅半翅類」を脱稿して2年が立ち、ここにその補遺として、神奈川県に産するカメムシ類50種について主に追加データを記録するとともに、9種(ハマベツチカメムシ、ヒメクロツチカメムシ、オオキンカメムシ、アジアカクチブトカメムシ、クロヒメツノカメムシ、ケブカナガカメムシ、スナコバナナガカメムシ、アシボソトビイロサシガメ、コマツモムシ)を新たに追加した。これにより神奈川県のカメムシ類は、31科195種となった。また、この他数種については、分布上注目される追加記録となった。

その反面、ツノカメムシ科、ナガカメムシ科、メクラカメムシ科、ハナカメムシ科、及び水生半翅類などは、言及することができなかった。これらについては整理が出来次第、逐次追加報告して行きたい。

文 献

DISTANT W. L. 1883 First report on the Rhynchota collected in Japan by Mr. George Lewis. Trans. Ent. Soc. London 413-443.

- 長谷川仁 1960 新潟県の異翅半翅類. 長岡市立科学博物館研究報告 1 1-65.
- 長谷川仁 1966 原色昆虫図鑑. 小学館, 東京.
- 長谷川仁 1980 対馬産半翅類覚之書 月刊むし, (117) 35-38.
- 日浦勇ほか 1959 徳島県のカメムシ類. 昆虫科学, (9) 9-46.
- 日浦 勇 1977 原色日本昆虫図鑑(下). 保育社, 大阪.
- HIDAKA, T 1959 Studies on the LYGAEBIDAE. XVIII. A new genus of the subfamily Blissinae from Japan. Kontyū, 29 269-271.
- 平野幸彦 1971 西湘地長産カメムシ上について I. 神奈川虫報, (35) 17-22.
- 宮本正一 1965 原色昆虫大図鑑, 3 75-108. 北隆館, 東京.
- 中山不羈 1981 異翅半翅目数種の採集例, 月刊むし, (126) 18-19.
- 大場信義 1981 モズのはやにえとなったオオキンカメムシ. 神奈川虫報, (62) 28.
- 鈴木 裕 1981 神奈川県異翅半翅類. 神奈川県昆虫調査報告書, 189-213.
- 立川周二・小林尚・長谷川仁 1976 斑点米を発生させるカメムシ類の見分け方, 植物防疫, 30 (4) 27-32.
- (横須賀市追浜本町1-11 〒: 237)